

那覇市は100歳

前編 1920年代-1960年代

2021年5月20日、那覇市が市制を施行して100周年を迎えます。那覇市政や先人たちが歩んできた100年を、前編・後編に分けて振り返ります。

秘書広報課 ☎862-9942



鉄道那覇駅(現在の那覇バスターミナル付近) 3



市制施行祝賀行事 2



那覇市役所 1



平和館 5



山形屋百貨店 4

全てが失われた沖縄戦 1940年代			県都としての発展 1930年代			那覇市誕生 1920年代														
1948年(昭和23年)	1947年(昭和22年)	1946年(昭和21年)	1945年(昭和20年)	1944年(昭和19年)	1941年(昭和16年)	1938年(昭和13年)	1937年(昭和12年)	1936年(昭和11年)	1935年(昭和10年)	1934年(昭和9年)	1933年(昭和8年)	1932年(昭和7年)	1931年(昭和6年)	1930年(昭和5年)	1929年(昭和4年)	1927年(昭和2年)	1925年(大正14年)	1923年(大正12年)	1922年(大正11年)	1921年(大正10年)
◆台風被害のため市庁舎が開南へ移転 ◆開南バス停付近の闇市が公設市場として牧志に移転 ◆平和通りにテント小屋の市場が建つ 17	◆那覇・小禄に電話線開通 ◆奥武山を中心とするペリー、壺川、楚辺、松尾一帯に、那覇とは別の行政区みなど村を設置 ◆現在の開南バス停付近に闇市発生 15 ◆アーニーパイル国際劇場設立	◆壺屋区が那覇市に昇格 ◆戦前の円を新円に交換 ◆小禄村の津真田に配給所設置。米軍による無償配給時代が始まる 14 ◆糸満市米須に移動した真和志村民が「魂魄の塔」「ひめゆりの塔」「健児之塔」を建立	◆米軍、沖縄本島へ上陸開始 11 12 ◆日本政府ポツダム宣言受諾、無条件降伏 13 ◆陶器と瓦工業復興の目的で1003人が壺屋に、136人が牧志に入る	◆学童疎開「対馬丸」が米潜水艦の攻撃を受け沈没(約千5百人死亡) 8 ◆10月10日米軍による那覇大空襲(那覇市域90%焼失、空襲前に約5万人いた市民は国頭への避難などで8千人に激減) 9 10 ◆那覇市役所、県庁敷地内の工場指導所跡地2か所で事務取扱い開始	◆沖縄の観光ホテル第一号「沖縄ホテル」が波の上に開業 7 ◆太平洋戦争開戦	◆沖宮、弁ヶ嶽石門が国宝指定	◆末吉宮が国宝指定 ◆日本航空社、小禄飛行場設置	◆守礼門修復	◆大前通りに円山号百貨店開店 6	◆首里市営バス那覇〜首里間運行開始(新垣バス買収)	◆日本放送、那覇を「NAHA」と詠むことに決定 ◆牧志街道(新県道)国際通りの前身)開通	◆平和館にトーキー映画を据える 5 ◆那覇〜首里間の路面電車廃止(1914年開通)	◆県内初の水泳プール「那覇市営波上プール」オープン ◆那覇市水道を敷設	◆山形屋百貨店が東町の警察署跡に開業し、那覇名物となる 4	◆普通選挙法による初の市会議員選挙 ◆那覇市歌制定	◆那覇商工会(のちの那覇商工会議所)設立	◆首里城正殿が国宝指定	◆県営の軽便鉄道糸満線開通 3	◆特別区制が廃止され那覇市・首里市となる。那覇市初代市長に当間重慎氏就任。10月1日から5日間、市制・県庁舎落成の祝賀行事行う(大綱引と行列) 1 2 ◆那覇市章制定	



米軍が安里52高地(シュガーローフ)を占領 12



空襲後の那覇市垣花 10



長崎に向かった対馬丸 8



大前通り 6



嘉手納基地内で行われた降伏調印式 13



収容された一般市民 11



那覇上空を偵察する米軍軽飛行機(通称トンボ)この字の建物は上山国民学校 9



沖縄ホテル 7

不動産のプロがあなたの「土地・建物」を無料で査定します。

例えばこんなときお電話ください!

- ☑ いくらで売れるのか知りたい
- ☑ 査定から売却までの説明を聞きたい

価格査定実績、380件 ※2021年2月末現在
査定のお申し込みは今すぐこちらまで!

FM Kinawa 不動産査定ハウスマッチ 毎週木曜日14:50~放送中 又吉未乃 具志浩和

土地・建物・スピード査定! 営業時間/9:00~17:30 土・日・祝営業中! 専用は オロク オロク ☎901-0152 沖縄県那覇市小禄1丁目27-15 FAX:098-858-0020 沖縄県知事免許(3)4058号 オロク商会 検索 HP https://oroku.co.jp/

査定専用ダイヤル 0120-54-0606